

竹被覆工による シカ侵入防止対策

和歌山森林管理署



平成27年より試験施工

竹被覆工とは

- ・半割した竹を縦に並べたもの
- ・シカが滑って侵入できない
- ・30度以上の傾斜で有効
- ・約2年～3年効果が持続

竹被覆工のメリット

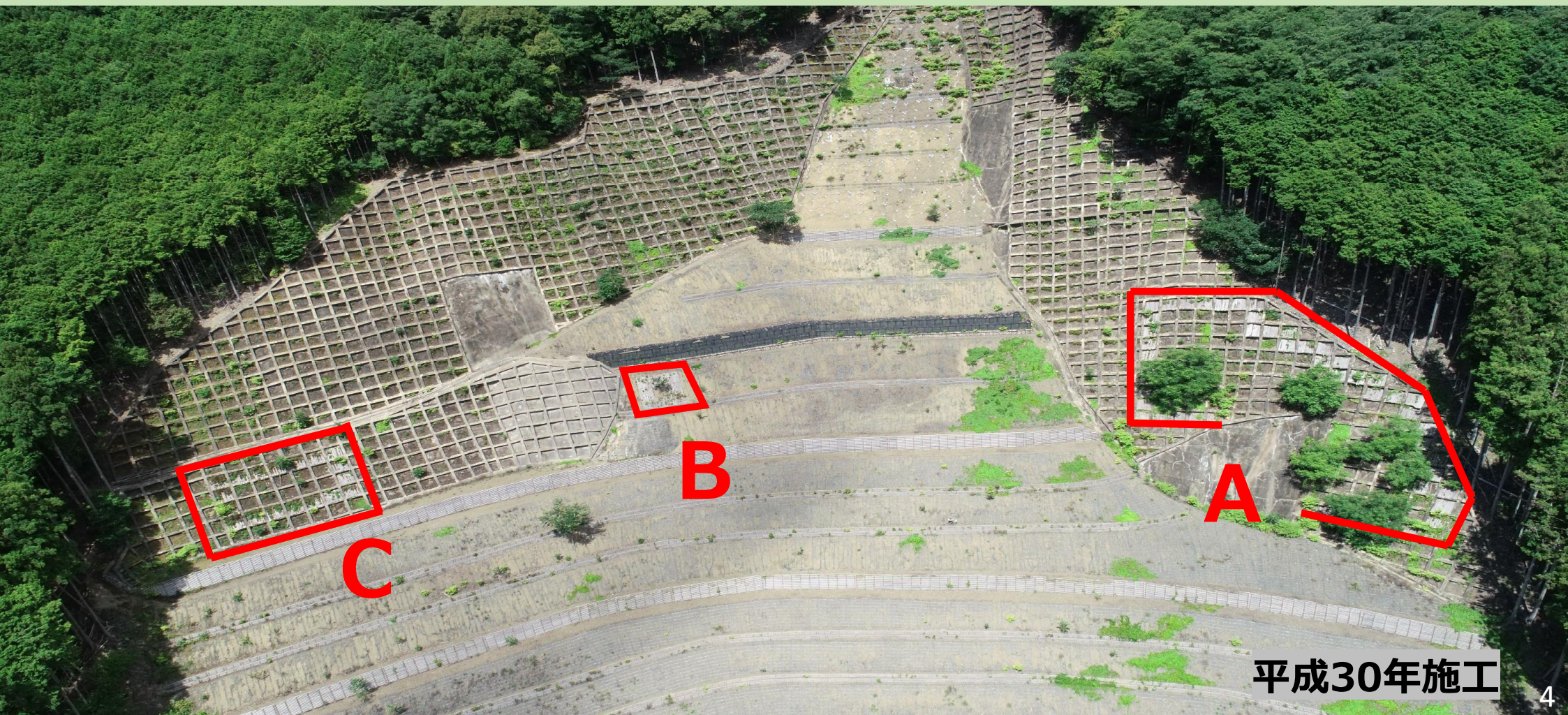
- ・景観に配慮
- ・施工が簡単
- ・メンテナンス不要
- ・撤去不要
- ・放置竹林の対策



シカ侵入防止の様子

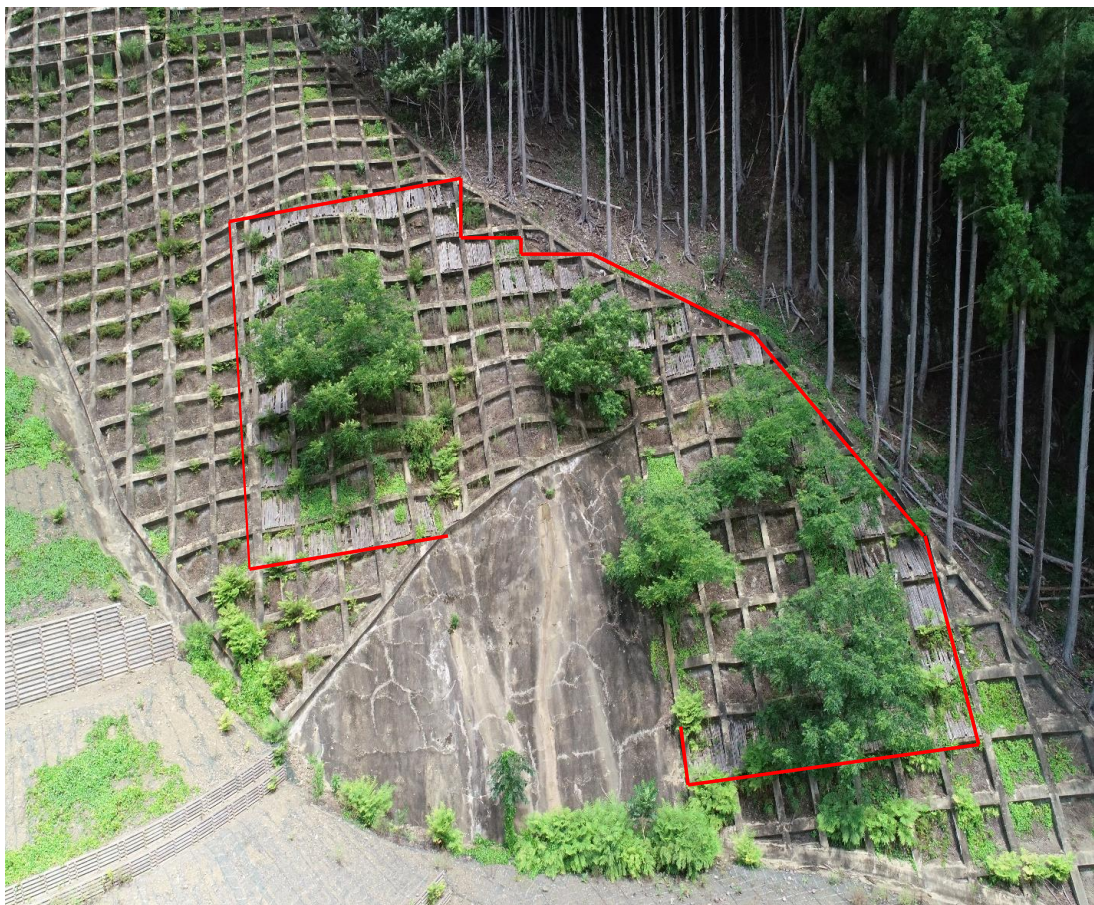


竹被覆工の施工箇所（下モ谷地区）



A施工区

平成30年施工



- 竹被覆工の内側にセンダン7本、外側に3本植栽
- 内側の7本は良好に生育

B施工区

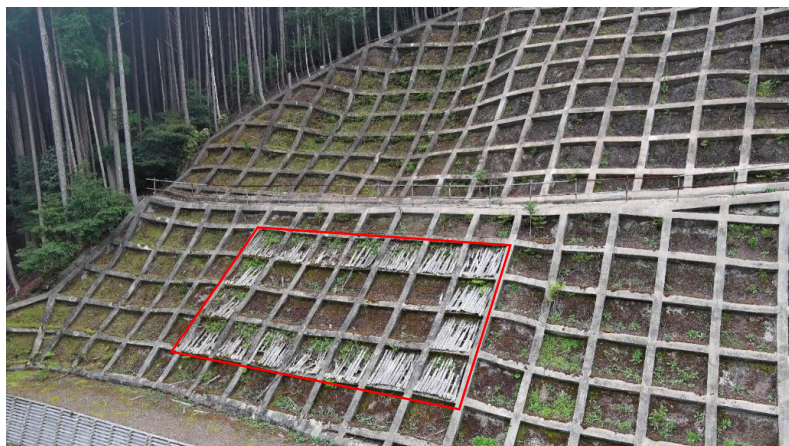
平成30年施工



- 竹被覆工の内側にヤマグリを植栽
- 樹高 2 mに生育
- 地上1.2m以下の枝はシカによる食害
(ディアライン)
- 枯れる心配はない

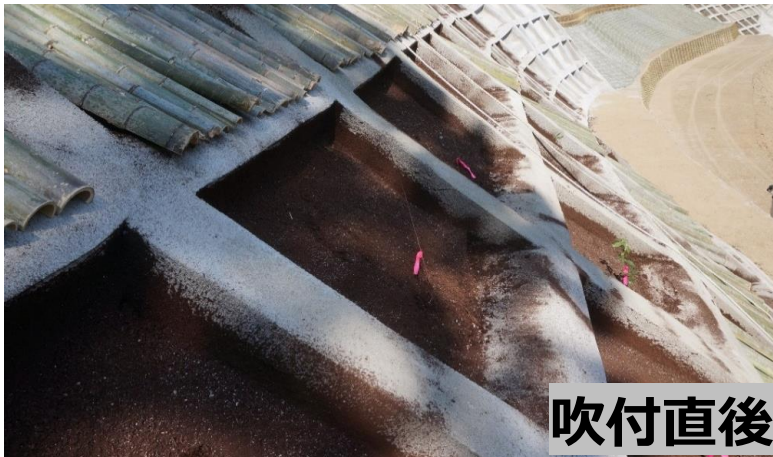
C施工区

平成30年施工



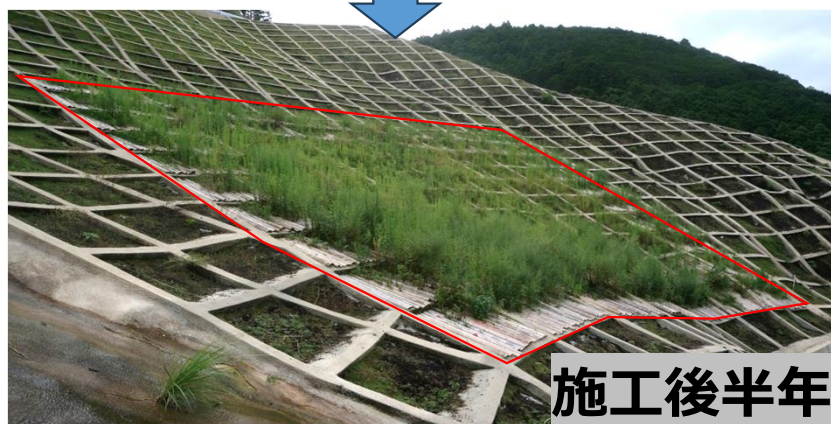
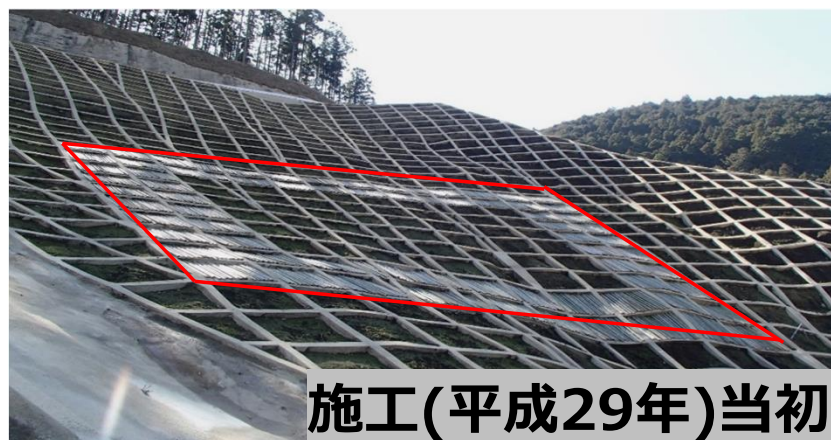
- ケヤキ、ヤマグリ、アラカシを植栽
- 施工当初からシカの侵入を確認
- 植栽木は、ほぼ消滅
- 竹と竹の隙間に植生を確認

対照区（何も対策していない法枠工）



- 法枠工の中に緑化基材を吹付
 - 鹿の食害と踏み荒らし
 - 裸地化が深刻
-
- 法面では鹿が好まない植物が生育（ニワウルシ、オオルリソウ、ナチシダ、ジャケツイバラ、ハスノハカズラ）

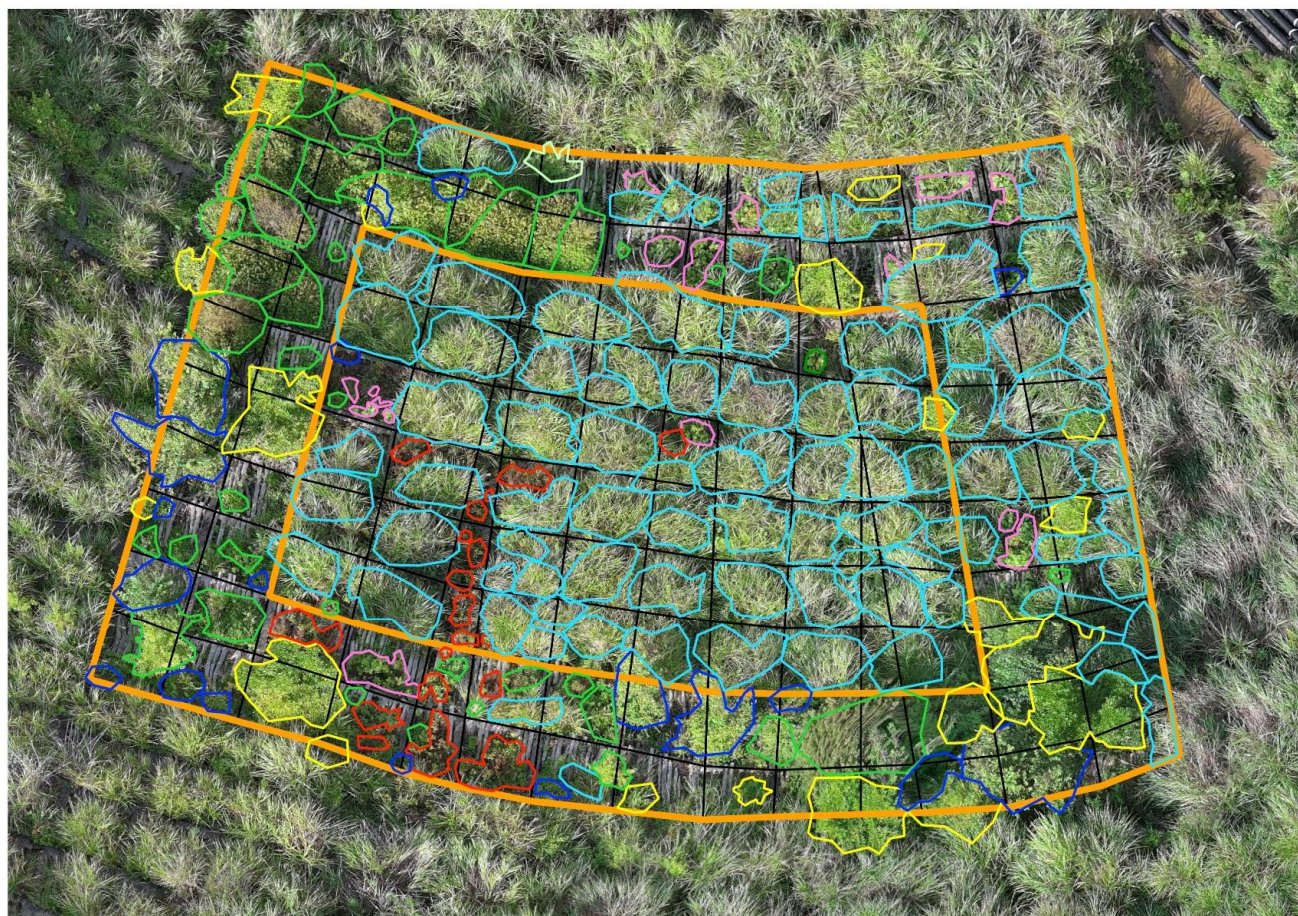
他地区での施工事例（本田垣内地区）



- 緑化基材（草本）の吹付
- 木本類を植栽せず



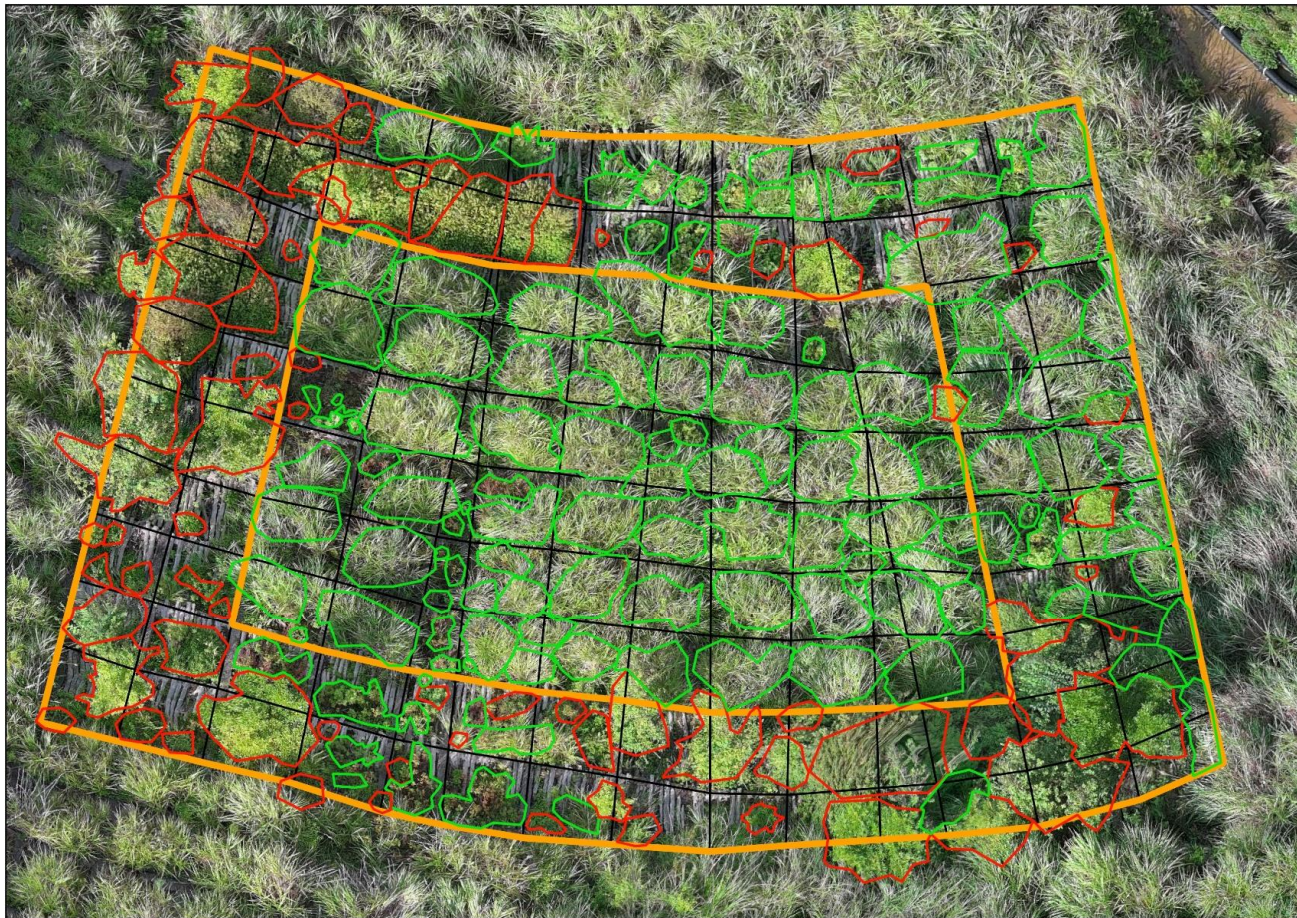
本田垣内地区 植生調査結果



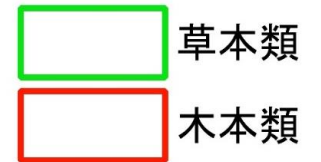
凡例

- ウツギ
- オトギリソウ
- カナクギノキ
- コアカソ
- ススキ
- ダンドボロギク
- ナチシダ
- マツカゼソウ

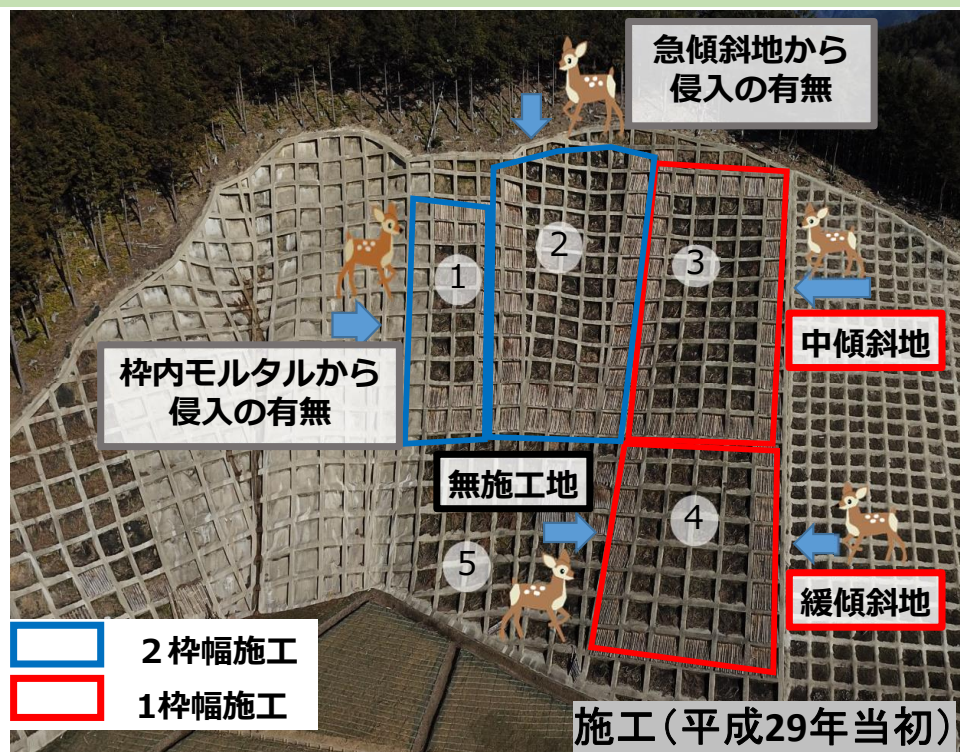
本田垣内地区 植生調査結果



凡例



他地区での施工事例（八升前地区）



- ヤマグリ、アラカシを植栽



- ・現在ヤマグリが5 m程度に生育
- ・自然進入した樹木も同程度に生育

八升前地区 植生調査結果



凡例

- アカメガシワ
- アラカシ
- イヌビワ
- ウツギ
- キリ
- クリ
- コウゾ
- サンショウ
- ススキ
- タラノキ
- ニワウルシ
- ミカン
- メドハギ
- ヤブマオ
- ヤマザクラ

八升前地区 植生調査結果



凡例

草本類
木本類

まとめ



シカの多い急傾斜地において、
竹被覆工と成長の早い樹木を
組み合わせ、森林への回復が可能



植生回復という
治山事業の目的が達成